

Q. 講師になるには、ヤマハグレード取得が必要でしょうか？

A. 応募時点でグレード取得は必須ではありませんが、講師としてお仕事をすることで取得していただく必要があります。

Q. 声楽を専攻していますが、エントリーは受け付けていますか？

A. ヤマハが目指しているのは、鍵盤演奏力の育成だけでなく、聴いたり歌ったり創ったりという「総合的な音楽能力」です。声楽専攻の方はもとより、さまざまな専攻の方を歓迎します。

Q. 希望するエリアで働けますか？

A. 資格取得試験にエントリーする際に、「稼働希望エリア」を選択して受験することができます。状況によりご希望通りにならない場合もありますが、稼働希望エリア内でお仕事をさせていただくことを基本にしています。

Q. 希望したコースを教えることはできますか？

A. 講師としての経験年数や取得グレードによって担当できるコースが決まります。実際に担当するコースは、レッスン会場のスタッフと相談の上で決まります。

Q. 管弦楽器レッスンの講師募集はありますか？

A. 管弦楽器、LM楽器、ボーカル等の各種楽器、歌についても講師を募集しております。詳しくは講師募集サイト <https://school.jp.yamaha.com/music-teacher/> でご確認ください。



詳細は、YAMAHA MUSIC SCHOOL 講師募集サイトから
<https://school.jp.yamaha.com/music-teacher/>

※応募条件、応募方法、試験内容詳細についても、上記からご確認ください。
2027年度募集要項、説明会情報などもご覧いただけます。

YAMAHA MUSIC SCHOOL 2027年度 講師募集

子どもの総合音楽教育



YAMAHA
MUSIC SCHOOL

ヤマハ音楽教室



すべての人がもっている音楽性を育み、自ら音楽をつくり、演奏し、楽しむことの出来る能力を育て、その音楽の喜びを広くわちあう

ヤマハの音楽教室が東京・銀座でスタートしたのは1954年のこと。

「すべての人に音楽を」という願いを込めて、40以上の国と地域で音楽教育活動を続けてきました。



ヤマハ音楽振興会の事業

ヤマハ音楽振興会は、音楽教育事業・音楽研究活動・音楽支援事業の3つを柱に事業を推進しています。

ヤマハの音楽教育

子どもたちが音楽を習うことの意味ってなんでしょう？

楽器をじょうずに弾けるようになるため。将来、音楽の道に進むため。たしかにそれも大切な理由です。

けれどヤマハが目指しているのは、もっと大きなこと。

それは「子どもたちが自ら音楽を楽しめるようになること」です。きく、うたう、ひく、よむ、つくる…音楽への接し方はさまざまですが、

ヤマハで学ぶ子どもたちはどんなかたちでも、心から音楽を楽しめるようになります。

生活のなかに音楽があふれる現代だからこそ、音楽を楽しみ、音楽で表現し、音楽でつながる力は、大きな財産となるはず。

そんな力を子どもたちに与えたい…それが、ヤマハの願いです。

YAMAHA MUSIC SCHOOL講師募集について

ヤマハ音楽振興会の音楽教育事業は幼児から大人シニアまで対象にピアノ、エレクトーン、ギター、サックスなど幅広いコースを展開しています。このパンフレットでは、幼児から中高生を対象とし、ピアノやエレクトーンを弾くための技術に偏ることなく、「きく」「うたう」「ひく」「よむ」「つくる」といった要素を総合的にレッスンする講師(グループレッスンと個人レッスンを担当する講師、ピアノを主体とした個人レッスンを担当する講師)の募集について記載しています。



※後期日程にて募集

求められる講師像

YAMAHA MUSIC SCHOOLの講師の仕事 — それは「一人ひとりに音楽の楽しさを伝えること」
そのため講師には楽器の演奏力以外にも様々なものが求められます。

総合的な音楽力

ヤマハがレッスンでめざすのは単なる演奏技術の習得ではなく、「音楽による自己表現力の育成」です。そのためには講師自身も幅広い音楽力が必要となってきます。

柔軟で的確な指導力

さまざまな個性や能力の生徒一人ひとりの状況を把握し、臨機応変に対応しながら力を伸ばしていく指導スキルが求められます。

信頼される人間性

生徒はもちろん保護者からも慕われる包容力や、同僚やスタッフと良い人間関係を築き上げるコミュニケーション力があるこそ、充実した質の高いレッスンが可能となります。

レッスン開始までのスケジュール(前期日程・グループレッスンと個人レッスンを担当する講師の場合)

2026年

募集要項 公開

1月29日(木)

WEBエントリー・課題提出

3月13日(金)～4月27日(月)

1次選考

5月中旬

2次選考

5月下旬～7月上旬

〈合格後〉

1. 稼働前サポート
2. 契約締結
3. レッスンスタート(2027年5月～)

※講師募集説明会は2月より各エリアの音楽大学、ヤマハ音楽振興会事務所、オンラインで実施します。

Interview

ヤマハ歴=ほぼ人生。 ヤマハと生きる喜び。

音楽を仕事にしようと決めた経緯

振り返ってみると、音楽以外の仕事を考えたことがありません。年長さんの頃に、自分より小さい歳児クラスの先生になりたいと思いつき、そこからずっと将来夢の欄には「ヤマハの先生」と書いていました。演奏をしたいという気持ちが芽生えたこともありましたが、ヤマハの先生への憧れが忘れられず、この道を選びました。

生徒さんとの思い出深いエピソード

生徒さんや講師の皆さんをはじめとする音楽を愛する方々との出会いは、私にとって宝物です。この道を選んでいなければ生まれなかった感情や音楽が、たくさんあります。悩むこともありますが、それ以上に、言葉では言い表せないほどの幸せを運んでくれるお仕事です。お誕生日の子がいる月に「Happyバースデー」を歌うという恒例行事が、自然と生まれたクラスがありました。最初は私の伴奏で歌っていましたが、次第にメロディーを覚えた子が弾き始めてくれたり、伴奏をつけてくれたり、イントロを考えてくれたりと、**子どもたちの成長とともにどんどん進化**していきました。レッスンの内容とは別のことで、始めた当初は時間がかかり

ましたが、今でも心に残っている、子どもたちとの大切な時間です。

レッスンで大切にしていること

- 1.生徒さんが「レッスンに行くのが楽しみ!」「先生やお友だちに会いたい!」と思える教室・クラスづくり
 - 2.「音楽って楽しいな!」と感じてもらえる、心躍る生の音楽を届けること
 - 3.生徒さんが音楽をずっと心の友だちや支えとして楽しめるように、一人ひとりに寄り添ったレッスンをすること
- 私は、生徒さんと音楽仲間のような関係でいたいなと思っています。これからも生徒さんから刺激をいただきながら、生涯音楽家として成長し続けたいです。



TSUBASA HIRATA 平田 翼 講師(講師12年目)

憧れが次世代のあこがれに、 音楽のバトン。

ヤマハとの出会い

母が教室を探していた頃、兄の友達がヤマハに通っており『楽しいよ!』『素敵な先生がたくさんいるよ!』と勧められました。小学生からは専門コースで学び、個人レッスンに変わってから、声楽やエレクトーンのレッスンも含め大学卒業まで通っていました。気づけば3歳から今までずっと、ヤマハと共に成長してきました。

生徒さんとの思い出深いエピソード

思い出はたくさんありますが、生徒さんの**できないことができるようになった時**が何より嬉しい瞬間です。音楽だけでなく、最後まで集中できるようになることや、前に出られるようになること、という面でも成長を感じられることがとても幸せです。また、生徒さんに『将来、先生みたいなヤマハの先生になりたい』と言われたことはとても感慨深く、忘れられない思い出です。

レッスンで大切にしていること

その子に合った指導をすることです。当たり前のことですが、

ヤマハに通っている目的はそれぞれですし、器用さや性格も違うため、100人いれば100種類の指導方法や接し方があると思います。また、生徒さんが音楽を楽しんでいる姿を見ることが、自分も楽しむことも大切にしています。1人で練習することは孤独な面もありますが、ヤマハではアンサンブルなど友達と音楽を分かち合う機会があります。ヤマハに来ることが、苦痛ではなく楽しい時間になるようなレッスンを目指しています。また、私が過去に思っていたように、『先生みたいになりたい』と思ってもらえるような講師になりたいです。演奏が上手いだけでなく、生徒に寄り添える、素敵な先生でありたいです。



NANA TSURUTA 鶴田 奈々 講師(講師3年目)

主婦からヤマハの先生に。 先生リスタート!

ヤマハ講師になる前

小中高生の吹奏楽指導、保育園、ピアノ個人講師、音楽活動、派遣会社員、専業主婦(育児)などをしていました。

音楽を仕事にしようと決めた経緯

ヤマハ講師を選んだ理由は、**指導法を学びたかったから**です。音大卒業後、音楽活動や指導を経て育児のため専業主婦となりました。子が大きくなってまた働きたいという気持ちが強くなり、ピアノの個人レッスンを始めました。指導を行う中で、**声のかけ方や入門者(とくに幼児)に対してどう指導すべきか**悩んでいた時、ヤマハであれば、しっかりとした指導法が学べるのではないかと感じました。総合音楽教育は、「ピアノを弾く」だけでなく歌ったり鑑賞したり、心から音楽の魅力を伝えられる場所で、ピアノだけでなく歌うことも得意な自分には向いていると思いました。

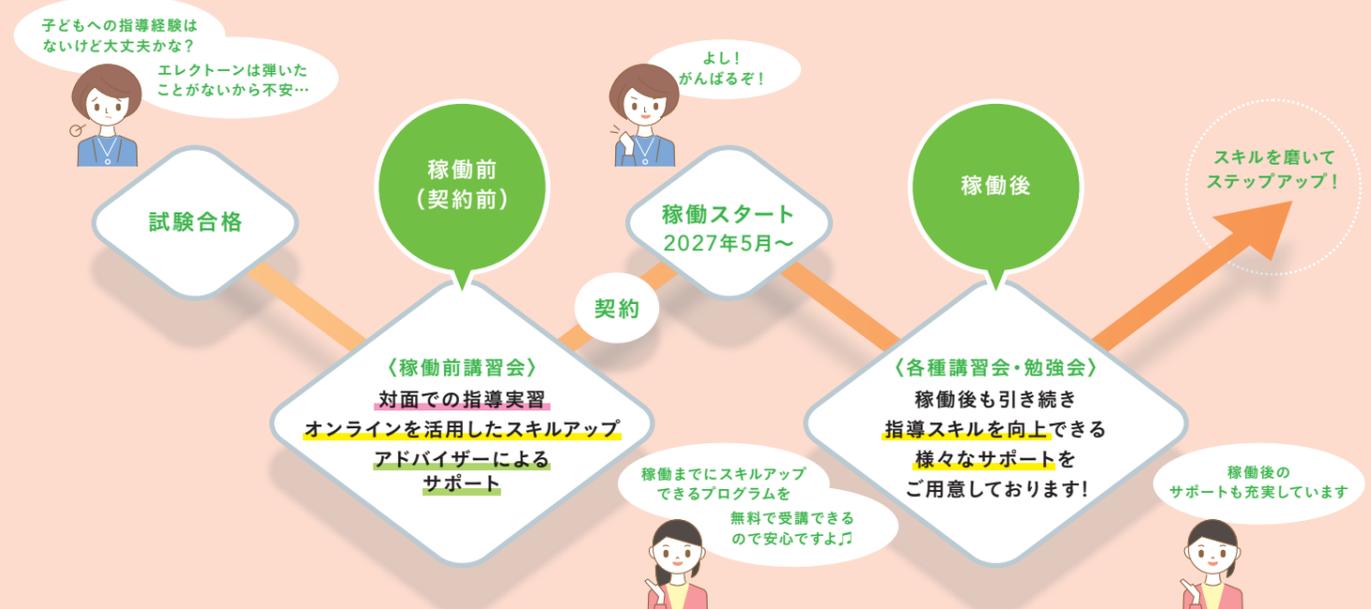
レッスンで大切にしていること

音楽を、ずっとずっと好きでいてもらえるように。レッスンに来ることが楽しみとなり、練習が生活の一部となるように。自己表現する楽しさ(歌う、奏でる、作る)を知れるように。一度離れてしまっても、違う時違う形でまた音楽に触れたときに、ヤマハに通っていたことが絶対役立つと信じて。私が出来る限りの全力で、音楽の持つ力と素晴らしさを伝えていきたいと思っています!



MIDORI KOSUGI 小杉 翠 講師(講師3年目)

ヤマハならではの充実したサポート



YAMAHA MUSIC SCHOOL 講師の働き方

個人事業主として働くということ

YAMAHA MUSIC SCHOOL 講師は、「個人事業主」として、ヤマハ音楽振興会と講師委任契約を交わし、生徒を教える役割を任せられます。音楽教室における指導内容は、芸術に関するものであり、講師個々の音楽性や専門性を活かし、日々行う指導について講師に委ねられています。また、音楽家としての自由（演奏活動、自宅レッスン、稼働日の自由など）を制限することのないよう、準委任契約のもとご指導頂いております。



働き方の選択



レッスン報酬例

講師4年目 / 生徒数約60名 / 週5曜日

各レッスンは基本月3回（コースによって異なる）

平均報酬約17万円 最高額約24万円

※報酬は担当するコースと生徒数、取得グレードやライセンスにもとづいて計算されます。

※記載の生徒数、報酬額、稼働日数を保証するものではありません。

※金額は2024年11月実績

上記のスケジュール例

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
月曜日											
火曜日											
水曜日											
木曜日											
金曜日											
土曜日											
日曜日											

■ : 個人レッスン ■ : グループレッスン

※上記の他、自己研鑽として指導に関する勉強会や先輩講師のレッスン見学等があります。

新講師スキルアップ応援制度

ヤマハでは新講師を対象とした指導法習得の機会をご用意しております。新講師期間（2年間）は、ヤマハのレッスンの指導内容を理解し、その指導法の習熟のための自己研鑽が必要です。この制度では報酬面での不安なく自己研鑽の時間をしっかり確保していただくための支援を目的としています。エントリー制で、一定水準以上の指導力が認められると、毎月のレッスン報酬に加え、報酬が加算される仕組みです。新講師の皆さんに安心してお仕事に取り組んでいただけるよう、指導面、報酬面でのサポートをご用意しています。

※本制度の対象はグループレッスンと個人レッスンを担当する講師です。

※契約開始から2年間限定の制度です。

$$\left(\text{コース単価} + \text{報酬加算} \right) \times \text{生徒数} = \text{レッスン報酬}$$

※報酬は担当するコースと生徒数、取得グレードやライセンスにもとづいて計算されます。

※レッスン報酬＝月額報酬です。

例) 新講師（1年目）の加算イメージ



生徒数約50名 / 週4曜日
グレード4級取得

レッスン報酬
約12万円

本制度の対象になった場合

レッスン報酬
約12万円

報酬加算
2~3万円

※報酬は担当するコースと生徒数、取得グレードやライセンスにもとづいて計算されます。

※記載の生徒数、報酬額、稼働日数を保証するものではありません。